

サバイバルデイキャンプ 9/23 

たき火を通して楽しく学ぶ



身近な物を使った火おこしの方法を学んで炊飯に挑戦する「サバイバルデイキャンプ」が中郷ふるさと交流館で行われました。参加者は、燃えやすいように立体的にまきを組んで火をおこすと、米が入った空き缶をその火にかけて調理開始。火加減を見ながら20分程度でおいしいご飯を炊き上げた子どもたちは「キャンプに行って、今日みたいにたき火や炊飯をやりたい」と話していました。

1うまく火が付いた! 2空き缶を使って米を炊く 3おいしく炊けたね 4水と砂をかけて消火もしっかりと



ジェット機との綱引き大会 9/17 

空飛ぶ機体の巨大さを体感

9月20日の空の日を記念して「ジェット機との綱引き大会」が成田空港で開催されました。県内外から参加した小学生と保護者合わせて249人が、重さ約161トンの機体につながれた綱を力いっぱい引っ張り、約15メートルを動かしました。この日は日本航空(株)の格納庫内でのイベントも同時開催。パイロットなどの制服の着用体験や空港内で働く特殊車両の展示・乗車体験などが行われ、子どもたちは目を輝かせていました。



ジェット機を移動させる車両の運転に挑戦

月見だんごをつくろう! 9/24 

秋の風物詩を一足早く

一年で一番美しい月が見られる中秋の名月に前に「月見だんごをつくろう!」が子ども館で行われ、小学生20人が参加しました。白玉粉に水を足してこねた後、小さく丸めてゆで上げると、もちもちとした団子の出来上がり。仕上げにみたらしあんを絡めて試食すると、子どもたちは「お店で買ったみたい」「お月見の日にも家で作りたい」と笑顔で頬張っていました。



慎重に鍋から上げる

※マークが付いたイベントは、Facebookでも配信しています。

成田市とつながろう

市では、イベント情報や緊急情報など、皆さんの役に立つさまざまな情報をSNSで配信しています。



成田市LINE



成田市広報課Facebook



成田市広報課Instagram

#なりたさんぽ

成田伝統芸能まつり秋の陣 9/16・17

全国各地から25団体が集結



1



2



3

県内外から伝統芸能団体が集まり、多彩な祭りや踊りを披露する「成田伝統芸能まつり秋の陣」が成田山表参道を中心に開催されました。総門前などに設けられた各ステージは、伝統芸能を一目見ようとする見物客で大にぎわい。圧巻の演技に、惜しめない拍手が送られました。参加団体が表参道を練り歩くパレードでは、ほかでは見られない伝統芸能の共演に大勢の人が魅了されました。

1はつつとした演技で観客を魅了2伝統芸能の共演3指先まで美しく4表参道を華やかに染める



4

救急キャンペーン 9/9

いざという時に備えて学ぶ

応急手当ての重要性や救急隊の活動を知ってもらおうと「救急キャンペーン」がイオンモール成田で開催されました。会場では、心肺蘇生法の体験会や、救急に関する知識が学べるクイズラリーが行われたほか、救急隊員が着用する救急服や消防車を展示。来場者は、救急隊員や消防団女性部からAEDの使い方と胸骨圧迫の仕方を教わるなど、救急についての知識を深めていました。



消防団女性部の動きを参考に

なりたオレンジプロジェクト 9/21

認知症の人が暮らしやすいまちに

認知症について理解をしてもらおうと「なりたオレンジプロジェクト」の街頭啓発活動がJR成田駅で行われました。参加したのは、認知症の人を支援する象徴的な色であるオレンジ色を身に着けた、市内事業者や成田空港関連企業、成田市認知症家族の会（オアシスの会）のメンバーなど。世界アルツハイマーデーに合わせ、駅前を歩き交う人たちに啓発のうちわを配布し、認知症への理解を呼び掛けました。



啓発のうちわを手渡す